

塩野室地区まちづくり懇話会の結果

日時:令和4年7月23日(土) 14時～

場所:小林公民館

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
1	<p>コロナ禍で2年間、地域活動が停止しています。塩野室地区においては、体育祭、あったか交流会は地域のコミュニケーションのためのイベントであり、今年度は開催に向けて準備を進めています。開催の可否について早期に判断せず、時期を見極めたいと思います。</p> <p>まちづくり協議会設立に向けた準備委員会を開催しています。地区の課題として地域内交通(デマンドタクシーなど)があり、これまでは自治会長が中心となって課題解決に取り組んできましたが、まちづくり協議会には他団体や若い世代の方に参加いただき進めていきたいと思っています。</p>	<p>まちづくり協議会設立に向けた準備委員会を9地域で開催しています。現在、地域のコミュニティーの中心として自治会があると思いますが、自治会加入数の低下により維持が難しくなっている状況にあると思います。</p> <p>そこで、地域の団体や住民が主体となって、「まちづくり協議会」を設立しますので、各地域の課題について取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>市としては、今後財政面の支援を含め、皆さまと協働しながら進めていきたいと考えています。</p>	—
2	<p>大雨になると、塩野室地区センターと小林中学校は水没の被害が発生します。平成27年9月に台風による被害がありました。以前から懸案となっていますが対策をお聞かせください。</p>	<p>これまで数回に渡り小林中学校と塩野室地区センター周辺で水害が発生しています。現在、土地改良区と水路利用者と一緒に協議を行っています。対策として小林中学校北側の堰の整備(改修)を検討しています。</p>	—
3	<p>景観について、他市の知人を奥日光や鬼怒川温泉などへ案内する機会がありますが、景観を損ねているもの(ここにこれが無ければもっときれいに見える)があり残念に思います。</p> <p>また、中心地市街にある日光街道ニコニコ本陣は、駐車場が狭いため改善が必要だと思っています。</p>	<p>景観保持のため環境を整えることは重要です。また観光地への経路・方向や、地点・地理に関する情報が的確に得られ、観光周遊を促進するための観光案内サインの整備等も同様です。こうした観光のインフラを整備しアピールしていくことは行政の役割であるため、今後も国などの支援を有効に活用しながら対応していきたいと思っています。</p>	—
4	<p>「食の大切さ」について健康教室を開催していますが、参加者が少ないのでどうしたら参加いただけるか苦慮しています。市の保健師や栄養士から塩野室地区の住民は、血圧が高い方が多いと指導を受けています。一人暮らしの高齢者世帯にお弁当を配布したり、地元企業に向いて食の大切さの説明を行っています。</p>	<p>健康づくり推進員の皆さまには大変お世話になっております。参加者を集めるのはとても大変ですので、担当地区の保健師、地区社会福祉協議会担当にぜひご相談いただきたいと思います。</p>	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
5	人口減少に影響する課題として、子育てをする環境や学校教育の環境が整備されていないと若い世代の人口がどんどん減少してしまう。(市外へ転出してしまう。)対策が必要だと思います。	<p>特に若い世代の方々は、昼間の働く場所が市内に存在しない(少ない)と宇都宮市など仕事があるところへ流動してしまいます。今市地域はこのような昼夜間人口問題を抱えています。</p> <p>こうした中で子ども医療の整備や幼少からの教育の整備が子育ての環境には必要かと思います。本年度においても、幼児期からの教育力向上の取組を重点施策としています。</p> <p>平成28年6月に「日光市立小中学校の適正配置にかかる基本的な考え方」を策定し、小中学校の適正配置を進めてきました。</p> <p>適正配置は、中学校区を中心に計画を進めていますが、小林中学校については、当初検討計画に入っていたが現在検討に入っていない状況です。学校の適正規模については、文部科学省が定めていますが、これを日光市にあてはめると大半の学校が適正規模でないことになってしまいます。必ずしも基準に捉われず、それぞれ地域によって事情が異なりますので、地域の要望、環境を適切に捉えて適正配置を進めていきたいと思っています。</p> <p>一番大切なことは子どもが学ぶ環境だと考えています。</p>	—
6	企業誘致について、将来人材を確保する視点から、IT関連企業を誘致することはできないでしょうか。将来若い世代がUターンできる環境が必要と考えます。	若い世代を確保するために、どのような企業に来ていただくか検討が始まっています。民間企業から新しい働き方が提案されていますが、テレワークの活用で都市部の企業や団体の本社・本拠から日光市にオフィスを設置する考えもあります。また都市部の企業が日光市に移転することで雇用を促進するといった検討も始まっています。	—
7	再生可能なエネルギーについて、太陽光発電の他に別な方法、取組みがあると思いますがどのように考えていますか。	カーボンニュートラルを推進するうえで、太陽光発電に限らず風力、地熱、バイオマスのような複数の再生可能なエネルギーをバランスよく活用することが大切です。また、取組みにあたっては、地域の特性や実情に応じた再生可能エネルギーの導入を検討することも重要と考えます。	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
8	観光について、日光市に来る観光客は日帰りの観光客が多いと聞きます。もっと長く滞在していただける方法はないでしょうか。日光市は自然の資源が豊富ですが、例えばハイキングや登山となりますと、登山道は未整備が多いので整備をすればもっと長く滞在いただけると思っています。	日帰り客が多く、宿泊客が少ないことについて、課題として捉えています。ご指摘の登山道は、一部、市が管理していますが、完全な整備は難しい状況です。国、県、市が連携し、登山道の在り方、施策について検討を進めていきたいと思っております。	—
9	観光に関連することになるが、東京の知人を日光市に招いたときに観光案内看板が汚れていると言われ残念に思いました。綺麗に見やすく整備することで日光市の印象がよくなると思います。	市には杉並木や多くの文化財がありますが、これまで国(文化庁)は保存に重点を置いてきたものを、今後は観光面での活用を進める動きに変わってきています。そのようなことを踏まえると景観を整えることは重要であるため、観光案内看板はもとより、印象に配慮した整備を行ってまいります。	—
10	企業誘致について、過去に仕事で関わったことがある。日光産業団地(土沢、森友)の土地利活用について、獨協医科大学日光医療センターが移転されるようだが、雇用見込が当初と違ってしまわないか。企業に限らず大規模商業施設を誘致してもよいと思えます。	日光産業団地(土沢、森友)の土地利活用について、地域の医療の拠点として獨協医科大学日光医療センターが移転することにより、用途も変更し、医療関連企業を軸に、その他民間企業も誘致する方向に転換しています。 一方で、新たに産業団地を造成することは困難ですが、企業の単独立地を進めるには、ある一団の広さの土地の確保が必要になることから、塩野室地区内で活用可能な土地の情報がありましたら市へ情報提供をお願いします。	—
11	市道の整備について、今市青少年スポーツセンター前の道路は今市青少年スポーツセンター(日光市根室)から国道119号交差点間は県道、今市青少年スポーツセンターから県道62号線までが市道となっています。市道のほうは草木が繁茂しており景観が悪いと感じています。自治会で道路愛護事業として草木の伐採を行って対応をしていますが、今市青少年スポーツセンターは全国からお客様が来ますので日光市で対応いただくと助かります。	市道の草刈りについて、市では幹線道路で交通量の多い場所、歩行者数が多い場所を中心に草刈りを行っています。それ以外の場所は道路パトロール等で確認した危険箇所について草刈りを行っています。市道の全長は1,452kmありすべてに手が回らない状況です。そのため道路愛護活動など市民(自治会)の協力をいただき対応をしているところです。該当の市道は今年度において国体が開催されますので対応を検討します。日常の管理につきましては、道路愛護活動など引き続き市民(自治会)の協力をお願いします。	—
12	昨年4月に震災にあって自宅の一部が破損しました。当時、日光市の担当窓口へ罹災証明書の発行について申請しようとしたら1ヶ月以上経過しているため証明書の発行を断られました。申請期間が短いと、特に高齢者は不服があっても諦めてしまうと思えます。	法令等確認したうえで回答します。	8月1日付で取扱要領を改定し、申請期限を撤廃しました。

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
13	市内小中学校の統廃合について、建物の利活用についてどのように考えているか伺います。	土地も含めた市が保有する公共施設、未利用・低利用の市有財産の利活用と運営面に関して民間事業者から提案を受け付け、事業化を検討する「公共施設等に関する民間提案制度」に基づき、地域に合った事業を展開していきたいと考えています。	—
14	新しい日光を発信するブランディングの説明がありました。今後メディア、SNSの発信力が不可欠になると考えています。若年層は、調査、解析などにメディア、SNSをうまく活用しています。日光市の置かれている現状を客観的に把握するうえでメディア、SNSを積極的に活用してブランディングの定着を図れば効果的と考えます。	市のデジタル戦略として、具体的にどうやって情報を発信していくか、行政事務のオンライン化また手続きの自動化(自動処理)などの取組み(検討)が始まったところです。国においてもデジタル技術による行政サービスの改善、デジタル・ガバメントの実現を強力に推し進めようとしていますので、今後、力を入れて取り組んでまいります。 あらゆるメディア、SNSを活用し、情報を発信していきます。	—
15	市内では支援が必要な子どもが増えていて、教室が不足している学校もありますが、小林中学校では教室が余っているのを目にします。一方は窮屈な教育、一方はゆとりがある教育のため、卒業して高校でお互い一緒になったときうまく馴染めない現状があり環境の格差を感じます。 また、塩野室地区の子どもは、中学生になると自分がやりたい部活が人数が少ない理由でできない場合、生徒数の多い今市中学校へ転入してしまう実情があつて、生徒が寂しい思いをしていることから部活動の格差を感じています。	地域によって学校の規模、伝統、環境が異なります。各学校それぞれ良いところがたくさんあると思います。学校の規模、伝統、環境から強みを引き出して学校運営をしていくことが大切であると思います。また、課題もありそれぞれ異なると思いますが、各学校で適格に捉えて対応いただきたいと思います。「未来かがやくプロジェクト(教育)」のとおり、市は学力向上宣言ということで各学校に特にお願いしているところです。各学校において学校の強みを引き出していただきたいと思います。 また、学校生活の中で部活動は子どもたちにとって大切であります。令和5年度から部活動を地域にお願いできないか検討しています。これまでは学校単位での活動でしたが、市内学校が協同して行い、活動自体も地域における活動にできないか検討していきます。	—

No.	ご意見・ご質問等 発言要旨	市の回答要旨	対応結果または対応方針
16	<p>日光市には歴史のある建物、豊かな自然があることは承知しているが、家族連れの子どもや大人が遊べる場所がない。都市域における遊び場の喪失、レジャーの多様化などから、遊べる場所が必要と考えます。</p>	<p>観光プロジェクトの中で、アウトドア関連での誘客事業は推進していくべきと考えています。今年度において「日光市アドベンチャーツーリズム促進支援補助事業」で自然体験を活用した事業を行う事業者に対して補助金を交付しますが、アウトドア関連事業者が主に該当すると思います。日光市は豊かな自然があります。単に施設の建設、整備をするのではなく、自然体験メニューを新たに開発、又は既存の自然体験メニューを充実・強化していこうと考えています。</p> <p>市で管理している公園の中で、都市公園があります。杉並木公園や松原公園は、子どもたちが遊んでいただける公園です。市内の既存の公園をぜひ利用いただければと思います。</p>	—